

# 幡多の太陽

令和元年11月25日 第15号

## 上級生、下級生関係ない「なかよし」の光景

休み時間や放課後、校長室や職員室から校庭で遊んでいる子どもたちの姿をよく見えています。小規模の学校では珍しくはない光景が幡陽小学校でも見受けられます。

一学年の友達の人数が少ないため、全学年の子どもたちが混じり合い、サッカーなどをよくやっています。以前はドッジボールや野球だったのですが、今やサッカーといえば、男子の遊びの定番です。でも、その中に混じって、6年生緋里さんや唯那さん、3年生璃瑚さんなどが男子と一緒に楽しそうにサッカーをしている姿をよく見かけます。上級生、下級生、そして、男女関係なく遊べている姿を見て、上級生が下級生を大切にしてくれているんだなあ、男子が女子を嫌がらずに遊びの中に入れてくれているんだなあとうれしく思っています。男子の中に混じり元気に遊んでいる女子も素晴らしいなあと思います。規模が小さいからこそできることで、小規模の学校の良さだと思っています。みんなを大切にできる、そんな幡陽小学校にさらにしていってほしいと願っています。

休み時間が終り、元気いっぱいに遊んだ子どもたちは、汗びっしょりになって校庭から教室に帰って行きます。その時にも、やさしさを感じることができる光景をよく見かけます。6年生の蒼空くんと3年生の勢玖斗くんが、手をつないで勢玖斗くんがにこにこしながら、蒼空くんについて歩いているのです。勢玖斗くんの表情がとても明るく、6年生の蒼空くんが大好きで、楽しくてしょうがないという感じです。蒼空くんは、おこったり、他人を傷つけたりするような言動などをしない心やさしい6年生男子です。ですから、下級生がしたってくるのでしょね。きつい言葉、きつい言い方が時々子どもたちの中から聞こえてきます。トラブルが起こってしまうわけです。他の友達からもしたわれるような言動がとれる子どもたちになってほしいと思います。



みんなで仲良く遊べる、そして、やさしい子どもたちがいっぱいいるそんな幡陽小学校をめざしていきましょう。

## 実践的防災教育研究発表会

12月12日(木)午後

2年間の本校の取り組みを発表します。大木聖子先生の講演もあります。

## じんけんの花の取り組み

12月に鉢花配り

11月8日(金)に2名の人権擁護委員の方に来ていただき、「じんけんの花 パンジーの苗植え」を行いました。植えたパンジーは、世話をし、卒業式の会場の飾りや学校の美化環境、そして、12月9日に予定している独り暮らしの高齢者への鉢花配布に活用する予定です。花を植え、花を育て、鉢花を配る活動を通して、子どもたちの心の中に、思いやりや、やさしさ、そして、協力することの大切さという大きな大きな花を育てることになってくれればと思っています。



縦割り班に分かれて、卒業式用、学校の美化環境用としてプランタにまずパンジーを植え、それから、独り暮らしの高齢者に配布する花鉢に苗を植えました。パンジーを植えたプランタ、鉢は玄関前に並べています。



## 素晴らしい合奏、合唱ができました

11月12日には幡陽小学校体育館において校内音楽発表会を、そして、11月15日には、市民文化会館において、足摺岬小、清水小、幡陽小の児童332名が集まり、清水地区音楽交流会が行われました。音楽交流会では、迫力のある足摺岬小の和太鼓、大人数による躍動感・臨場感あふれる清水小の合唱や合奏もありました。幡陽小の合唱も一人ひとりがしっかり声を出し、みんなが一つになった素晴らしい合唱でした。音がとりにくく、初めの頃は音が外れたり、声が出ていなかったり…練習を重ね、難しさを感じさせないような合唱ができていました。合奏も良かったです。一人ひとりが奏でる音が重なり、素晴らしい演奏になっていました。



校内音楽発表会での様子です。朝早くから聴きにおいで下さいました保護者の皆様ありがとうございました。



